

企画・制作  
埼玉新聞社  
クロスメディア局

# “循環器病”という社会課題に挑む

## 明治安田 執行役員 埼玉本部長 瀧野瀬 雅夫 氏



たきのせ・まさお  
早稲田大学商学部卒。1990年4月入社。山口支社長、営業人事部長、神戸支社長などを  
経て、2024年4月から執行役員埼玉本部長。

## 佐藤 信也 氏

戸田中央総合病院 院長



さとう・しんや  
東京医科大学卒。医学博士。日本循環器学会  
専門医。日本内科学会認定医、総合内科専門  
医。戸田リハビリテーション病院院長などを  
経て2021年4月から戸田中央総合病院院長。

## 患者数、がんの1.4倍

脳梗塞、心筋梗塞などの循環器病は、突然死の原因として深刻な後遺症を残すことや、突然死も引き起こす怖い病気だが、リスクはあまり知られていない。患者数はがんの1.4倍、死因もがんに次ぐ2位という循環器病は国民病であり、社会課題と言え。その克服に取り組み明治安田の瀧野瀬雅夫執行役員埼玉本部長と、戸田中央メディカルケアグループ(TMG)の基幹病院である戸田中央総合病院院長佐藤信也医師に、予防の大切さや日々の備えについて語っていただいた。

### リスク、認知度低く

明治安田は戸田中央総合病院と、さまざまなお付き合いがあるそうですね。

瀧野瀬 乳がんの検診受診率アップを目指すピンクリボン運動に賛同し、本年度から協働の取り組みを開始しました。地域住民に向けた先生方による「乳がんセミナー」を開催し「ピンクリボン オンライントーク&ラン」in埼玉にも参加しました。

また、私たちはトップアスリートをめざす次世代アスリートを支援する埼玉県の取り組みに協力しており、戸田中央総合病院のポータルと連携し、子どもたちにローリング(ボート漕ぎ)を体験してもらおう「ローリングクリニック」を開催しました。トップ選手と接することが刺激になればという狙いで、2回目にあります。

循環器病のリスクは、まだ、どんな人がかかりやすいのでしょうか。

佐藤 我々、専門家には心臓が脳とは別の問題ですが、循環器学会等は循環器病を脳卒中を含む血管の病気と捉えており、要介護状態になる一番の要因は脳梗塞、脳卒中です。

突然死することもある心不全も重要です。「人間は血管から老いる」と言われ人間の体はヒールの配管に例えられますが、配管の耐用年数は20〜40年。もっと長く生きる人間の血管は配管よりポロポロでもおかしくない。(病気に)ならないためにどうするか、なった場合に要介護度を下げることが重要ではないかと考えています。

リスクの高い人は、

佐藤 血液中のLDL(悪玉)コレステロールや中性脂肪の高い人が血管が詰まりやすいのは明らかですが、本当にそれが問題なのか。心筋梗塞や狭心症という虚血性心臓病とコレステロールの関係は立証されているので肥満や糖尿病を予防することが大切ですが、脳卒中はコレステロールと発症率の関係について一定したデータがない。血圧コントロールで予防できるのは確かですが、血管が詰まる一番の原因であるコレステロールが直結するかどうか証明されていないのが現実です。

「怖い病気ですね」

佐藤 脳卒中の怖さは知られていません。半身まひや言葉が出なくなる要介護状態になると家族の負担になるし、亡くなることもあります。心臓も動き盛りの人が帰らぬ人になることも。発症を少しでも減らすことが大切ですが、我々が一番取り組んでいるのは発症した場合にどうやって助けるかです。

保険の役割を超えて

明治安田は戸田中央総合病院と、さまざまなお付き合いがあるそうですね。

瀧野瀬 明治安田は地域社会課題の解決を最重点に取り組んでいます。循環器病は非常にリスクが高いのに、知名度が低い。先生が血管を建物の配管に例えましたが、そういったお客さまにとってわかりやすい伝え方をまなびながら一人でも多くの方へと啓発活動を行なうことが重要です。

脳梗塞も心臓病も突然現れて命に関わることもある怖い病気です。患者数はがんの1.4倍、死因はがんに次いで2位、再発率も非常に高い。治療費も高額だし、治療も長引きます。私たちの立場

### 明治安田、啓発に注力

#### 4段階にわたる保障

明治安田は啓発にも取り組んでいます。

瀧野瀬 明治安田は全国に約3万6000人の営業職員(MYリンクコーディネーター)があり、埼玉では約2100人が、お客さまに寄り添いながら「予防」を継続できるような勇気づけます。啓発知識をしっかりと提供するため国立循環器病研究センターと提携し、循環器病がどんな病気か、どうすれば予防できるかを分かりやすくまとめた小冊子を作りました。

また、自宅などでも簡単にできる、循環器病の予防に効果的なトレーニング動画をお届けします。トレーニングをお客さまにLINEで「頑張りましょう」とメッセージを送ったりもします。いろんなコンテンツでMYリンクコーディネーターが寄り添い、継続して健康改善を図っていきます。

「QOL応援プログラム」はどんな保障やサービスを受けられるのでしょうか。

瀧野瀬 QOL応援プログラム、生活の価値を下げないための努力を応援します。保険機能で言うと(病気の)予兆が出た時に予防のための保

### 怖さ知らせる使命を

明治安田は新商品「循環器病対策Pro」を発売しました。概要と目的、生命保険会社の役割について。

瀧野瀬 まず循環器病の恐ろしさをしっかりと伝えたいと思います。商品は健康診断の数値が良く、悪くなることを減らして、動脈硬化や脂質を減らして、予防していきたく思います。

佐藤 頭張る目標ができる



### 緊急時家族連絡カード

#### 適切な処置、素早く仲介

脳梗塞や脳卒中、心臓病などで外出先で意識を失って倒れ、救急搬送されると緊急処置や手術が必要になる。本人の意思確認ができないと病院は家族に連絡を取らなければならない。所持品から連絡先を探すが、例えば運転免許証では連絡先は分からない。そんなとき、役に立つのが「緊急時家族連絡カード」だ。利用方法は専用の赤いカードを財布などに入れて持ち歩くだけ。1分1秒を争う緊急時に病院から家族への連絡を迅速に仲介し、適切な処置につなげる。緊急連絡先などの個人情報はID番号で管理され、漏えいの心配もない。明治安田の「循環器病 対策Pro」など対象商品の加入者は無料で利用できる。



のほども良いですね。

瀧野瀬 ありがとうございます。健康な時から意識していただくための工夫です。例えば狭心症など軽度の症状が出た場合、保険金をお支払いしますし、もちろん重度になった場合もお支払いします。再発しても1年経過後という条件はありますが、ずっとお支払いします。さらに予後の段階で障害状態になった場合は年金をお支払いするという形で、商品としても寄り添っていただけるようになっています。

最後にメッセージを。

佐藤 我々は医者ですので病気になる人をいかに助けるかを一番考えています。循環器病は急激に発症、進行する病気ですが、脳卒中も心筋梗塞も早めに治療すれば軽く済むことは保険でも点検化されています。その意味で、発症したらすぐ治療するという啓発が大切です。

脳卒中の場合は血栓を溶かす薬を使いますが、副作用もあり、患者さんと家族に説明しなければなりません。早く処置しなければならぬのに、時間がかかるといってしまう。啓発活動によって適切な処置できるようにしたいと思っています。

がんの情報は豊富ですが、循環器病は政府が決めた6疾病に入っていないという、あまり知られていないのが現状です。明治安田さんが行なっている循環器病の啓発活動がとても重要ですね。

瀧野瀬 もっと知らせたいかなければいけませんね。

「本日は、ありがとうございました。」